

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市松尾寺駅前観光交流施設		
指定管理者	特定非営利活動法人駅舎と共について		
設置目的	歴史的な建造物を保存・活用し、ふれあいの場として提供することと、観光情報の発信拠点として、農村交流・世代間交流・学術交流を深め、地域活性化に繋げるため。		
選定方法	公募・ 非公募	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
所管課	産業振興部観光まちづくり室観光振興課		

2 利用状況等の推移

	平成29年度	平成30年度		
利用者数(人)	1,134	1,001		
利用料金(円)	—	—		
指定管理料(円)	92,000	92,000		

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
施設の利用人数	1,000名	1,000名	1,001名	100%
施設を利用したイベント企画数	3件	3件	3件	100%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	—	人件費	0
指定管理料	92,000	維持管理費	194,275
事業収入	0	事業費	46,972
その他	71,175	その他	0
合計	163,175	合計	241,247
差額			△78,072

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	◎	地元のみならず、広く市民を巻き込んだイベントを実施することで、施設の認知をあげた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	◎	映画ロケなどの側面支援を行うなど、日本遺産の構成文化財の周知、ブランド価値向上に貢献した。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	住民のみならず、学生と共に草刈りなどの保守管理を実施するなど活動拠点としての取り組みを行った。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	夕涼みコンサート、生け花・絵画展など開催された。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	◎	上記イベントの開催や昨年の反省をふまえ日程調整をするなど、利用者数の増加を狙った取り組みを実施された。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	△	おおむね満足が得られたが、トイレ利用に関し満足が得られなかった。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	△	スタッフが常駐できないため、完全な把握はできなかった。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	△	おおむね対応しているが、トイレ利用に関し解錠施錠が必要のため人員体制上対応が十分ではなかった。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	△	府負担の設備の電気使用料金を見込んで使用料金が増加しているため、適正な使用を考えなければならない。

委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	適切に取り組みました。
収入増加のための取組が行われたか	○	寄付金募集やイベント開催、映画撮影受入など取り組み適切に集金が行われた。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	最低限の配置は行われた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	不定期ではあるが、組織内でミーティングがもたれ相互の研鑽を積み重ねられている。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われた。
収支状況や会計処理が適切か	△	差益を生じさせることができなかった。繰越金を除いた収入を考えなければならない。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	適切に行われた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われた。
(5) その他コメント		
サービス向上	観光客への案内のため、観光パンフレットの配架・ポスターの掲示等に取り組みました。また、定期的な美化活動はもちろんのこと、生け花・絵画展実施や秋の音楽祭 in 松尾寺駅の開催など「おもてなし」の向上に取り組みました。地元高専学生との交流イベントを開催されるなど各方面との交流にも尽力された。今後、映画の撮影地であることを活用することにより、集客へつなげられたい。	
経費削減	予算規模が小さく、削減に係る効果が分かりづらいが、ライフライン等で要する固定費を除いては、節電等に尽力しており経費削減への取組がみられる。	
施設の維持・管理	観光客へのおもてなしの向上へ向けた取り組みや、地域コミュニティの活性化の拠点としての活動を、NPOのみならず地元住民や舞鶴高専、その他関係者と連携し実施する点は、目に見える以上の非常に大きな収穫があったものと思われる。一方で、行われるイベントが例年同様の内容となっていることから、新たなアイデアによるさらなる活発な施設の活用を検討願いたい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	4.2点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	いつもきれいに整備されている。 施設の管理をボランティアに頼っていることから、今後の活動の継続性についても検討してほしい。 施設の歴史的価値を更にPRしてほしい。	

《参考》 過年度の評価点

平成 29 年度	年度	年度	年度	平均
4点				4点